

第41回

真宗公開講座

真宗公開講座は、三重県北部に存在する桑名別院が主催し、別院から少し距離のある中勢・南勢・伊賀地域の方々に仏法聴聞の場を開くという願いのもと毎年開催しております。

現代社会の様々な問題を通して自分自身のあり方を見つめ直すご縁といたしたく思います。お誘い合わせの上、ご聴講くださいますようお願い申し上げます。

日時

2022年 7月 2日(土)

開場 午後1時30分 / 開演 午後2時

講題

「死別を支えるお寺のもつ力」

講師

尾角 光美氏 (一般社団法人 リヴオン代表)



講師プロフィール

19歳で母を亡くす。あしなが育英会で病氣、災害、自殺、テロ等による遺児たちのグリーフケアに携わる。2009年、死に直面した誰もが、必要とするサポートにつながる社会の実現を目指すリヴオンを設立。英国バース大学院社会政策学博士課程在籍。現在は真宗大谷派教師課程におけるグリーフの学びを、カリキュラムづくりから協働している。

近著に『なくしたものとつながる生き方』(サンマーク出版)

場所

農業屋コミュニティ文化センター

松阪市川井町690(チラシ裏面の地図をご覧ください) ☎0598-23-2111

聴講券

500円

聴講券購入は桑名別院、もしくはお近くの真宗大谷派寺院にお尋ねください。

当日券も若干枚あり

主催 真宗大谷派 桑名別院 ☎0594-22-0652 協賛 中勢・南勢・伊賀組教化委員会

第41回

真宗公開講座



尾角 光美氏 (一般社団法人 リヴオン代表)

講師からのメッセージ

これまで大切な人をなくした経験はありますか？

その時、どんな反応や感情が生まれてきましたでしょうか。直後は現実的なことに追われて、何も感じないということもあったかもしれません。誰かをなくしたときに、悲しみばかりでなく、様々な反応が生まれてきます。心、身体、人間関係、生きている根っこへの影響などなど。そうしたものをひっくるめて「グリーフ」と言います。グリーフというのは誰もが経験するもので、おかしなものではありません。中には「涙が何年経っても流れない、わたしは冷たいのかしら？」という方や、介護の末に亡くなって「ほっとした」と感じる人もいます。その気持ちも自然なものなのです。元来、そうした死別から生まれてくるグリーフを支えてきたのはお寺でした。仏事、法事を通して、なき方を想い、なき方から想われている自らを見つめることができたのではないのでしょうか。今、改めて、そうした力を見つめていきたいと思います。

感染予防にご協力ください

- 密集を防ぐため、館内またはホール内への入退はスタッフの誘導に従ってください。
- 検温・手指の消毒・マスク等着用にご協力ください。
- 館内での飲食・私語はできる限り、お控えください。
- 館内の換気にご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

交通アクセス

お車でお越しの場合(駐車場あり)

伊勢自動車道「松阪インター」を降り、そのまま直進すると商業施設「パワーセンター」が見えてきます。その信号「松阪市民文化会館南」を左折し、次の信号を右折すると文化会館が見えます。

三重交通バス利用

近鉄・JR松阪駅のJR改札口側バスターミナル2番のりばから「松阪中央病院行き」に乗り、「文化会館」下車すぐ。



主催 真宗大谷派 桑名別院 ☎0594-22-0652 協賛 中勢・南勢・伊賀組教化委員会